

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市善行坂1丁目計画 新築工事	階数	地上8F
建設地	藤沢市善行坂1丁目4630番5	構造	RC造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	360人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年10月12日
敷地面積	2,549 m ²	作成者	株式会社DAN総合設計
建築面積	888 m ²	確認日	
延床面積	5,570 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 138 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 92 (kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 184 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 本物件は小田急線善行駅から1キロ程度であり、近隣は集合住宅や物流センター等がある場所に立地している。限られた敷地の中に豊富な緑地、適切な量の駐輪場・駐車場を確保し交通負荷抑制や生物資源の保護に配慮し、防災備蓄倉庫を設けて災害に備えている。	その他	
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し空気質環境に配慮する	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材料を採用し建物の耐久性に配慮する	Q3 室外環境(敷地内) ・限られた敷地の中にできるだけ多くの樹木を植栽し熱環境や生物環境の保全に配慮する
LR1 エネルギー ・BEI=0.51、一次エネルギー消費率=1.08、LED照明設備・潜熱回収型給湯器及び空冷ヒートポンプ式エアコンを採用し省エネルギーに配慮する	LR2 資源・マテリアル ・ユニットフロアを採用し内装材と設備との錯綜がないように配慮する	LR3 敷地外環境 ・大型生ゴミ処理機を設置し廃棄物処理負荷の抑制に配慮する ・屋外照明の対策を行い、光害の抑制に配慮する

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される